



小浜西組町並み協議会 22年度 第4回役員会報告

日時：平成22年11月18日（木） 19：30

場所：鹿島 町並み保存資料館

出席者：役員21名のうち、出席14名、委任5名により会が成立

「小浜市より報告、依頼事項」

防災ワークショップについて：

来る11月28日（日）、ふれあいセンターを中心に防災ワークショップが開かれます。
スケジュールとしては、

13:30～ ふれあいセンターでオリエンテーション

14:00～ 消火器、路上でバケツリレーの実演

15:00～ ふれあいセンターで反省会 という流れです。

バケツリレーに、各区より五名の参加をお願いします。



役員の皆様には、今週中に市役所の西島さんまで各区の参加者のとりまとめをお願いします。雨天決行です。

重伝建補助事業について：

平成24年度は件数を増やしていきたい。申請が少々少ないので、ぜひとも事業利用を検討してほしい。そのことも含んで、地区民に周知してもらう為、協議会と市との共催で説明会をする事となりました。

「協議事項」

空家対策について：

マスタープランにもある町のにぎわいの創造のために、空家対策を実施したいと思います。市の商工振興課が空き店舗対策のために空き家の調査を行っていたので、それと協同して行くことにしたいと思います。

手順としては、

- 1、市役所のデータをたたき台に、その他に空き家がないかを調査
- 2、空き家の処分権者に対して、電話で趣旨文とアンケートを送ってもいいかどうかを確認
- 3、了解をいただいた方へ趣旨文とアンケートを送付

- 4、アンケートをもとにデータベース作成
- 5、データベースを定期的にメンテナンス
- 6、データベースをもとに「貸したい」「売りたい」「借りたい」「買いたい」などのニーズに対応

という流れをとります。

基本資料を頂戴したので、各区の空き家の実態調査をお願いします。

調べていただきたいことは、3つだけです。

- 1、資料にある「空き家」は調査対象かどうかの確認
- 2、調査対象の場合、決定権者はだれかの調査
- 3、資料以外に空き家はないかの調査



アパートは含みません。8区の中で重伝建エリア以外の空き家も対象です。提出先は桂田までお願いします。

「報告事項」

大島久男さんからの提案で、西組の白地図に、伝建物、公園、駐車場、寺院、トイレ、修理完了物件などの色分けをしたいと提案がありました。事務局と連絡を取り合って行なってほしいということになりました。

小浜公園のガツタリつきの看板の修理を行なっていただきました。

ウエスト物語では、小浜西組の案内パネルを作製してくれるそうです。

建築部会を年内に開くようにと会長から依頼がありました。

第2回小浜西組防災ワークショップに参加して



大窪教授とともに班討論



去る11月28日（日）、若狭ふれあいセンターにて防災ワークショップが開かれました。防災ワークショップは今回で2回目になります。本年7月に開かれた1回目では、この地区の避難場所や避難経路などについて話し合いました。そして今回は避難場所とされた常高寺やふれあいセンターについて、詳しい情報を提供し、実際の避難について検討をしました。たとえば、ふれあいセンターでは、一階と二階に避難可能ですが、現在の耐震基準に見合った建物ではないことや、海拔5mの位置に一階があることから、津波の際は一階の倉庫は浸水で使えないこと、避難場所としてはひとりあたり2㎡必要だけれど、その基準でいくと1,000人の住民が住ん



消火器訓練の様子



バケツリレーの様子



班発表

でいるこの地域にあって、300人の収容も不可能であることなどの情報が提供され、背筋が少々寒くなりました。

そのあと、住吉郵便局横の駐車場へ移動し、バケツリレーの実演に挑戦しました。一人当たりのバケツリレーの担当距離は50cmしかないそうで、これ以上広げると体に負担がかかり、長時間のリレーに耐えられなくなるなどのお話がありました。ほんの数十メートルの距離をリレーするのに30人から40人の人数が必要で、改めて火事の際には人の助けが大切なんだなあと思い知らされました。

バケツはツルを持つ人と上の持ち手を持つ人が相向かいでリレーしていくのですが、神戸の震災では長い人で三時間くらい続けなければならなかったとか。ワークショップ当日の実演は三分間、43杯でしたが、これを三時間続けることは並大抵のことではないと思いました。また、火元にバケツが溜まっていくので、空のバケツを回収して水源に運ぶのは子どもの仕事だということなど、大変参考になりました。

終了後のミーティングでは、バケツリレーを小浜地区の運動会で取り入れたらどうかとか、炊き出し訓練を四社詣りに取り入れたらどうかなど、小浜地区ならではのユニークな発想で意見交換がなされ、大変ためになりました。

又、常高寺旧参道にある防災水槽の定期的な点検を是非行政の方で行っていただきたいという意見がありました。

参加された皆さん、本当にお疲れさまでした。主催してくださった皆さん、ありがとうございました。

旧小浜小学校跡地（武田氏館跡） 発掘調査説明会より

平成22年12月12日（日）午後2時から現地説明会が行なわれました。地域の方をはじめ約50名の方が説明会に参加しました。



説明を聞く地域のみなさん

平成18年～21年にも4回調査をしており西側と北側において堀が確認されています。

今回は旧校舎側と空印寺側、旧グラウンド北、南の4箇所（約1900㎡）を発掘し、東限と居住施設について調査を実地しました。

今回の調査では旧校舎東側で遺構（古い建築物の残存するもの）が確認されました。石が敷き詰められていることから居館に付属した水を扱う作業小屋の可能性があり、その付近には^{るつぼ}（溶かすための金属を入れる器）や^{といし}砥石、矢じり、銭貨などが見つかり鍛冶場だった可能性があります。銭貨については中国の宋の時代のもので中国と交流があったことがうかがえます。（発掘された銭貨が日本のものではなくて少々がっかりしました。このがっかり感は私だけではなかったと思います）旧グラウンドでは棺や井戸が見つかり墓地だったことがわかります。

今回、出土したものは素焼きのお皿や中国など外国産の製品、国産の陶器などが多く出ました。旧校舎東側と旧グラウンドでは予想以上に遺構の残りがよいことがわかりました。今回の調査で長源寺、若狭武田氏、丹羽氏～京極氏、空印寺という時期毎の遺構変遷を明らかにしていきたいと市の方は話しています。



小浜西組町並み協議会からの

●報告とお知らせ●

* 建築部会を開きました *

12月13日（月）19時30分～町並み保存資料館にて建築部会が行われました。

村松建築部会長はじめ7名が出席し、ひさしぶりの会合ということもあり、重伝建選定後2年経過した感想や問題点など活発に意見がでました。やはり住民の方に重伝建に対して周知徹底されていないと感じている建築部員が多数ありました。西組協議会と市とで説明会の開催がぜひ必要だということになりました。

* 町並み保存資料館の年末年始休館のお知らせ *

平成22年12月28日（火）～平成23年1月4日（火）
〈新年は1月5日（水）からです。〉

